

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【公開番号】特開2002-152687(P2002-152687A)

【公開日】平成14年5月24日(2002.5.24)

【出願番号】特願2000-340955(P2000-340955)

【国際特許分類第7版】

H 0 4 N 5/93

G 1 1 B 31/00

【F I】

H 0 4 N 5/93 Z

G 1 1 B 31/00 5 4 1 M

【手続補正書】

【提出日】平成16年7月22日(2004.7.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記録媒体に対し画像情報の記録及び再生を行う画像記録再生装置であって、

前記記録媒体に格納された画像情報を再生する再生手段と、

ユーザのスキップキーの押下によって、前記再生手段による前記画像情報の再生を第1所定時間分だけスキップさせた上で再び前記画像情報を再生する第1スキップ手段と、

ユーザのスキップキーの押下が一定時間内に2度以上あるとき、前記再生手段の再生を、1度目の押下に応じて前記第1所定時間分だけスキップさせ、2度目の押下に応じて前記第1所定時間分より長い第2所定時間分をスキップさせた上で再び前記画像情報を再生する第2スキップ手段とを具備することを特徴とする画像記録再生装置。

【請求項2】

前記第1所定時間は前記第2所定時間よりも1秒以上5秒以内だけ短いことを特徴とする請求項1に記載される画像記録再生装置。

【請求項3】

記録媒体に対し画像情報の記録及び再生を行う画像記録再生装置であって、

前記記録媒体に格納された画像情報を再生する再生手段と、

ユーザのスキップキーの押下によって、前記再生手段による前記画像情報の再生を、15秒の所定倍数よりも1秒以上5秒以内だけ短い第1所定時間分だけスキップさせた上で再び前記画像情報を再生する第1スキップ手段と、

ユーザのスキップキーの押下が一定時間内に2度以上あるとき、前記再生手段の再生を、1度目の押下に応じて前記第1所定時間分だけスキップさせ、2度目の押下に応じて15秒の所定倍数である第2所定時間分をスキップさせた上で再び前記画像情報を再生する第2スキップ手段とを具備することを特徴とする画像記録再生装置。

【請求項4】

記録媒体に対し画像情報の記録及び再生を行う画像記録再生装置であって、

前記記録媒体に格納された画像情報を再生する再生手段と、

ユーザのスキップキーの押下によって、前記再生手段による前記画像情報の再生を、25秒以上29秒以内である所定時間分だけスキップさせた上で再び前記画像情報を再生する第1スキップ手段と、

ユーザのスキップキーの押下が一定時間内に2度以上あるとき、前記再生手段の再生を、1度目の押下に応じて前記所定時間分だけスキップさせ、2度目の押下に応じて30秒分のスキップを行った上で再び前記画像情報を再生する第2スキップ手段とを具備することを特徴とする画像記録再生装置。

【請求項5】

記録媒体に対し画像情報の記録及び再生を行う画像記録再生装置であって、前記記録媒体に格納された画像情報を再生する再生手段と、

ユーザのスキップキーの押下によって、前記再生手段による前記画像情報の再生を第1所定時間分だけスキップさせた上で再び前記画像情報を再生する第1スキップ手段と、

ユーザのスキップキーの押下が一定時間内に2度以上あるとき、前記再生手段の再生を、1度目の押下に応じて前記第1所定時間分だけスキップさせ、2度目の押下が1度目の押下に応じたスキップが完了していないときは前記第1所定時間分より長い第2所定時間分をスキップさせ、2度目の押下が1度目の押下に応じたスキップが完了後にあったときは前記第1所定時間分より長く第2所定時間分より短い第3所定時間分をスキップさせた上で再び前記画像情報を再生する第2スキップ手段と、

を具備することを特徴とする画像記録再生装置。

【請求項6】

記録媒体に対し画像情報の記録及び再生を行う画像記録再生装置であって、前記記録媒体に格納された画像情報を再生する再生手段と、

ユーザの入力に応じて第1所定時間と前記第1所定時間より長い第2所定時間を設定する設定手段と、

ユーザのスキップキーの押下によって、前記再生手段による前記画像情報の再生を前記設定手段で設定された前記第1所定時間分だけスキップさせた上で再び前記画像情報を再生する第1スキップ手段と、

ユーザのスキップキーの押下が一定時間内に2度以上あるとき、前記再生手段の再生を、1度目の押下に応じて前記第1所定時間分だけスキップさせ、2度目の押下に応じて前記設定手段により設定された第2所定時間分をスキップさせた上で再び前記画像情報を再生する第2スキップ手段とを具備することを特徴とする画像記録再生装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明に係る画像記録再生装置は、記録媒体に対し画像情報の記録及び再生を行う画像記録再生装置であって、前記記録媒体に格納された画像情報を再生する再生手段と、ユーザのスキップキーの押下によって、前記再生手段による前記画像情報の再生を第1所定時間分だけスキップさせた上で再び前記画像情報を再生する第1スキップ手段と、ユーザのスキップキーの押下が一定時間内に2度以上あるとき、前記再生手段の再生を、1度目の押下に応じて前記第1所定時間分だけスキップさせ、2度目の押下に応じて前記第1所定時間分より長い第2所定時間分をスキップさせた上で再び前記画像情報を再生する第2スキップ手段とを具備することを特徴とする画像記録再生装置である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記の様な構造により本発明は、スキップ機能のための1度目のスキップキー押下の操

作では、ユーザがコマーシャルに入ったことを認識するまでの時間や、リモコンを手に取るまでの時間を考慮した第1所定時間とし、2度目のスキップキー押下の操作では、このような時間を含めない第2所定時間とするものである。これにより、例えば、30秒のコマーシャルに対しては25秒のスキップを行い、60秒のコマーシャルに対する2回の押下では、25秒+30秒の55秒のスキップを行うことで、ユーザの操作の遅れ時間を考慮したスキップ処理を行う。これにより、従来装置にありがちであった、本編が再開して一定時間経過した時点にスキップしてしまうという不具合を回避することが可能となる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

又本発明は、記録媒体に対し画像情報の記録及び再生を行う画像記録再生装置であって、前記記録媒体に格納された画像情報を再生する再生手段と、ユーザのスキップキーの押下によって、前記再生手段による前記画像情報の再生を第1所定時間分だけスキップさせた上で再び前記画像情報を再生する第1スキップ手段と、ユーザのスキップキーの押下が一定時間内に2度以上あるとき、前記再生手段の再生を、1度目の押下に応じて前記第1所定時間分だけスキップさせ、2度目の押下が1度目の押下に応じたスキップが完了していないときは前記第1所定時間分より長い第2所定時間分をスキップさせ、2度目以降の押下が1度目の押下に応じたスキップが完了後にあったときは前記第1所定時間分より長く第2所定時間分より短い第3所定時間分をスキップさせた上で再び前記画像情報を再生する第2スキップ手段とを具備することを特徴とする画像記録再生装置である。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記の様な構造により本発明は、上述したように一回目のスキップのスキップ時間にユーザの操作の遅れ分を考慮することにより、従来あったコマーシャルが終了し本編が再開して小時間が経過した時点へスキップしてしまうという不具合を解消するものであるが、併せて、1回目のスキップキー押下のやや後に2回目のスキップキー押下をした際に、この2回目の押下が1回目のスキップキー押下に応じてスキップ処理が完了して再生が始まった後となった場合を想定している。この場合は、1回目のスキップ後の小時間の再生を考慮しないとやはりスキップしすぎる状況が発生するため、例えば正規の30秒ではなく、28秒とか29秒などのスキップ時間の調節（すなわち第3所定時間）を行うものである。この第3所定時間は、第1所定時間の程には時間は短縮されていないことが特徴である。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

又本発明は、記録媒体に対し画像情報の記録及び再生を行う画像記録再生装置であって、前記記録媒体に格納された画像情報を再生する再生手段と、ユーザの入力に応じて第1所定時間と前記第1所定時間より長い第2所定時間を設定する設定手段と、ユーザのスキップキーの押下によって、前記再生手段による前記画像情報の再生を前記設定手段で設定

された前記第1所定時間分だけスキップさせた上で再び前記画像情報を再生する第1スキップ手段と、ユーザのスキップキーの押下が一定時間内に2度以上あるとき、前記再生手段の再生を、1度目の押下に応じて前記第1所定時間分だけスキップさせ、2度目の押下に応じて前記設定手段により設定された第2所定時間分をスキップさせた上で再び前記画像情報を再生する第2スキップ手段とを具備することを特徴とする画像記録再生装置である。